

神戸大学ニュースネット
NEWS NET
©神戸大学ニュースネット委員会 <http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html>
関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502
電話06-6307-1315 FAX06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

しらすな会
現地サポートも万全!
本紙のみの特典あり!
**南紀サークル
合宿情報**
〒649-2211
和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4
電話0120-53-1662
<http://www.shirasunakai.jp/>

7月号

今月の主な内容

6面：海事科学部特集
2・3・4面：総合文化
9・10・11面：総合スポーツ

はしかで全学休校

学内での拡大防止策 課外活動に打撃

神戸大は麻疹(はしか)感染拡大防止のため、6月1日から12日まで全学を休校とした。神戸大が休校措置を取った理由とその影響を探った。

神戸大では、5月18日に学生1人が麻疹と診断された。25日には別の学生が感染の「疑い」を診断された。30日になって「疑い」と診断された学生は、休校措置が断念された。神戸大は、休校措置が断念された理由について「行動調査の結果、学内感染の疑いが強かったため」としている。

また、休校期間中の学生は18日に感染が確認された学生と学部が同じで、共通の講義を受けていた。これをきっかけに、神戸大は全学休校を決めた。

全ての学生に自宅待機を呼びかけ、休校期間中のキャンパス内への入構と、対外試合を含めた全ての部活動を中止した。また、休校期間中の学生は18日に感染が確認された学生と学部が同じで、共通の講義を受けていた。これをきっかけに、神戸大は全学休校を決めた。

神戸大では、5月18日に学生1人が麻疹と診断された。25日には別の学生が感染の「疑い」を診断された。30日になって「疑い」と診断された学生は、休校措置が断念された。神戸大は、休校措置が断念された理由について「行動調査の結果、学内感染の疑いが強かったため」としている。

また、休校期間中の学生は18日に感染が確認された学生と学部が同じで、共通の講義を受けていた。これをきっかけに、神戸大は全学休校を決めた。

海事でパソコン盗難 はしか休校中の犯行

麻疹(はしか)による全学休校のなか、神戸大は更なる厄災にみまわれた。神戸大は、海事科学部事務棟1階の事務室が荒らされ、ノートパソコン4台などが盗難にあったことを6月7日に発表した。無くなったパソコンには学生約1000人の氏名などの個人情報や記録が記されていた。ノートパソコン4台のほかには、デスクトップパソコンに装着していたメモリー2枚が盗まれた。4台のパソコンには「学生約1000人の氏名、入学年月日、住所、電話番号、保証人氏名、同住所」「平成7年度以降の卒業生の氏名」などの個人情報や記録が記されていた。ノートパソコン4台のほかには、デスクトップパソコンに装着していたメモリー2枚が盗まれた。4台のパソコンには「学生約1000人の氏名、入学年月日、住所、電話番号、保証人氏名、同住所」「平成7年度以降の卒業生の氏名」などの個人情報や記録が記されていた。

8月から耐震補強工事 期間中立ち入り禁止に

神戸大は8月20日から来年3月25日まで、国際文化センターを耐震補強工事を行う。期間中は、課外活動に制限が出る見通し。

神戸大は8月20日から来年3月25日まで、国際文化センターを耐震補強工事を行う。期間中は、課外活動に制限が出る見通し。

machi Tshirts project
「Tシャツで風景をつくりたい」。神戸大生が、使い古しのTシャツを使ったイベント「Tシャツ遊園地」を9月8、9日に部員川公園(神戸市灘区)で計画している。

彼らは神戸大学研究科の院生などからなる「machi T-shirts project」実行委員会のメンバー。委員長の狩野貴久さん(工学研究科1年)は建築や、町づくりを研究している学生が、実地に社会と接点を持つ機会を、学生と地域がともに参加できるものがないか。そう考え、誰もが持っている使い古しのTシャツを募集。詳細はHPを覗こうと考案した。「子供の絵を描く」をテーマにした。

「Tシャツ遊園地」

実行委員提供のイメージ図

**キャリアアセンダー発足
人材の育成を目指す**

学務部就職支援室が改組され6月1日、神戸大キャリアアセンダーとなった。

元々は就職支援室が学生の就職支援をしていた。しかし、就職市場の変化とそれに伴う学生像の変化。それに伴って、キャリアアセンダーが設立された。

「神戸大の最大の特色は、ネットワーク型の就職支援が可能なこと。センター長の内田正博(うちだまさと)は、国際文化学部教授。

センター長に就任した内田正博
(6月19日・国文A棟1階キャリアアセンダー前で撮影=伊崎春樹)

当初、就職支援室を担う学務部や生協、また同窓会や、so-netなどの学生組織がそれぞれ、独自の支援を行っていたが、それが連携し、神戸大学キャリアサポートネット

**50年間変わらぬ愛
「CRYSTAL EVE」**

演劇部自由劇場による第151回公演「CRYSTAL EVE」の公演が6月28日から大甲台講堂で行われ、7月1日で千秋楽を迎えた。

最終日となった日曜日は、あいにくの悪天候だったが、詰めかけた多くの観客に呼応して、部員らはステージいっぱいに渾身の演技を披露した。

この「CRYSTAL EVE」のテーマは「人を想うこと」。50年の時を経ても最愛の夫の無実を信じ続ける妻の途なき愛、仲間同士の強い信頼関係が、

伏流水

2007年6月20日、教育再生関連3法案が国会で成立した。注目すべきは、義務教育の目標に「我が国と郷土を愛する態度を養う」と、「愛国心」表記を盛り込んだことだ。はたして子ども達に「国を愛する態度」なるものを教える必要があるのだろうか。中学生の頃、沖縄戦について調べたことがある。強く印象に残っているのは、その際の島民の「集団自決」だ。当時、これは戦時教育が抱いた悲劇だと思った。同時に教育の潜在的な恐ろしさを知った。僕はその頃からの教育が国の将来を決めるほどの多大な影響力を持つこと、始めた。だから今回の法案の成立に不安を抱く。「愛国心」を拡大解釈して、子ども達に偏った教育をする教師が現れたりするのは、いや。でも日本は我々に愛されるような、誠実な行動をしているのだろうか。むしろ「政治」の問題や、天下りの横行、年金問題など、不誠実な行動ばかり目立っているように思える。自分自身を愛しては、いと思ふのならば、まず相手に対して誠実な行動をするのが筋ではないだろうか。わざわざ教えるのではなく、「おのずから」愛されるようになるのが日本本来の伝えたいべきではないだろうか。【藤本良恵】

**復興祭「灘チャレンジ」
震災の記憶をつなげ
当時の写真や体験談展示**

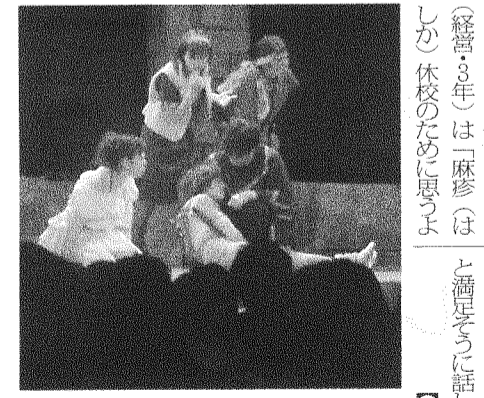
阪神・淡路大震災からの復興祭として始まった「灘チャレンジ」が6月3日、部員川公園(神戸市灘区)で今年も開催された。「神戸大総合ボランティアセンター」や「神戸大学生震災救援隊」などからなる

**朝日新聞
一週間、購読無料。**

この機会に新聞を
読んでみませんか?
いまなら一週間お試
しキャンペーン実施中!

<http://www.asa-takaha.com>

朝日新聞ご購入のお申込みは
ASA 高羽
☎0120-084013
神戸市灘区土山町1-13
※但し灘区内在住の方に限ります。



笑いあり、涙ありの公演に多くの人が詰めかけた(7月1日・大甲台講堂で撮影=上村絵理)

観客に改めて「人を想う」ことの大切さを実感させる要素がたくさん詰まっています。

演出した鈴木良介さん(経営3年)は「麻疹(はしか)休校のために思うよ

